

編集後記

<原子力特集の編集を終えて>

*資源・エネルギーの多くを海外に依存する我国において、エネルギーの自給率向上は重要な課題であり、効率的な循環型社会を実現するために、再生可能エネルギーの導入促進とともに、原子力エネルギーの拡大を引続き目指す必要があります。

*原子力エネルギーの活用のためには、原子力発電所の信頼性、安全性の確保を行い、情報公開により広く理解と信頼を得ることが必須であり、そして、既存プラントを最大限に活用するための着実な運用推進とともに、将来のための核燃料サイクルの確立とバックエンド対策が重要な課題になっています。

*当社では原子力の持つ様々な分野に取組んでおり、本号では原子力に関する最新の技術開発の内容を報告させていただきます。前回の原子力特集号は1989年4月刊行 Vol.39, No.2「放射性物質の輸送・

貯蔵技術特集」であり、その後の10数年の当社における実績と最新状況を紹介致しております。

*当社は輸送・貯蔵の分野で、各種のキャスクを開発し製造してきました。材料技術に関してもキャスク関連技術として確立したポロンアルミの製造方法やキャスク以外での活用分野をご覧ください。

*また、既存の原子炉では、放射性廃棄物の減容化が重要な課題となっております。低放射性廃棄物処理の各種設備や、将来のテーマである地層処分場における高圧環境に対応した様々な技術分野など当社の取組む最先端の開発内容を報告致しております。

*当社の原子力用材料と機器、プロセスなどについては是非ご覧頂き、本特集号についてご意見やご感想を頂ければ幸いです。

(神保 淳)

次号予告

<電子・電気材料 / 機能材料特集号>

*電気・電子材料は、情報化社会を支える基礎産業材料です。最近ではパソコンや携帯電話などに要求される軽量・小型化だけでなく、自動車の電子機器などには軽量・小型化と燃費改善との要求とが組合わさり、地球環境に優しいなどの多様なニーズにも答えています。

*特集号ではまず、当社のアルミ板、銅板、銅板などの主力製品となっている磁気ディスク基板用アルミ材、コネクタ・半導体リードフレーム用銅板材料、OPCドラム用アルミ材、クロメートフリーブレイクコート銅板、耐熱高強度銅管、高伝熱性銅管などの最新の素材および技術をご紹介します。

*つぎに、いままでに培ってきた固有技術や技術開発を活用して、将来性が期待される電気・電子材料のメニューとして当社が取組んでいます超電導マグネット用材料、圧粉磁心材料、微細溝用銅配線材料、液晶ディスプレイ用アルミ配線材料および技術をご紹介します。

*機能材料では素材に表面処理による機能性を付与した製品と、材質制御により特殊な機能を引出した材料を取上げます。

*前半では導電性、放熱性を付与した表面処理鋼板「コーベホーネツ」、抗菌材料「KENIFINE」などの最新の素材および技術をご紹介します。

*後半ではエネルギー吸収材料としても注目される発泡アルミ、フィルタ用多孔質金属焼結体、厨房排気用脱臭フィルタ、高耐食耐摩耗性HIP複合シリンダ、高融点活性金属用コールドクルーシブル溶解技術などを紹介し、当社の技術開発の裾広がりと潜在能力とをご紹介します。

*材料、技術には日々さまざまな要求があります。当社では「技術立社」をスローガンに、提案能力の高い企業へのチャレンジを続けています。次回の特集号はみなさまのご要求、ご理解の一助になると確信しています。是非、ご期待下さい。

(江藤 武比古)

編集委員

委員長	佐藤 廣士
副委員長	吉川 克之
	中川 知和
委員	泉 博二
	江藤 武比古
	上窪 文生
	木村 雅保
	神保 淳
	杉井 謙一
	鈴木 克明
	松下 行伸
	家口 浩
	吉村 省二
	<五十音順>
本号特集編集委員	神保 淳

R&D / 神戸製鋼技報

第53巻・第3号(通巻第205号)

2003年12月24日発行

非売品 <禁無断転載>

発行人 佐藤 廣士

発行所 株式会社 神戸製鋼所
コミュニケーションセンター
〒651-8585
神戸市中央区脇浜町2丁目10-26
(神鋼ビル)

本誌はKOBELCO ホームページに全文を掲載しています。

<http://www.kobelco.co.jp/>

印刷所 福田印刷工業株式会社
〒658-0026
神戸市東灘区魚崎西町4丁目
6番3号

お問合わせ先 神鋼リサーチ株式会社
〒651-2271
神戸市西区高塚台1丁目5-5
(株)神戸製鋼所内
TEL(078)992-9764
FAX(078)992-9790
teguchi@rd.kcrl.kobelco.co.jp